

社会

出題の傾向

社会科では、過去の歴史を学ぶと共に、日々変化する現代社会を学ぶことが大切です。そのため、本校では例年、総合問題などを中心に、時事的なテーマについても関心と理解を問う出題をしてきました。本年度は、大問Ⅰで新聞の社説「米同時テロ15年暴力を断つ決意新たに」を引用した総合問題を出題しました。

2017 今年度の出題と解説

例年通り、大問3題でⅠが各分野にまたがった総合問題、Ⅱが歴史的分野、Ⅲが公民的分野からの問題です。全51問で、Ⅰの問4(2)のみ完答2点で、その他は、各2点でした。地理分野19問、歴史分野19問、公民分13問でした。

Ⅰ 近年世界各地で多発するテロに関する記事の社説を利用した総合問題で、地理的分野から19問、歴史的分野から3問、公民的分野から1問の出題です。

問1は、パリの正答率は高かったのですが、ニュースにはたびたび出てくる都市名ですがダッカの正答率は低かったです。

問2は、トランプ氏の所属する政党を選ぶ問題で、イトウで迷った受験生が多かったと思います。問3は、西アジアの地図中からアフガニスタン・イラク・シリアの場所を選ぶ問題です。世界地図が苦手な受験生が多かったようで、正答率はあまり高くなかったです。問4は、中東に関する問題で、(1)

(3)は基本問題でしたが、(2)の完答問題はやや正答率が低かったです。問5の(1)はイギリスの通貨を問う問題、

(2)はイギリスから分離独立の住民投票を行ったスコットランドを問う問題で、大きくニュースでも報道されていたのですが、意外と正答率は高くなかったです。(3)は東南アジアで、イスラム教があまり信仰されていない国を選ぶ問題です。問6は、ニースの月平均気温と月平均降水量を選ぶ問題でニースの場所がわかり、地中海性気候の特徴を理解して初めて解答できます。(2)では、その地域であまり収穫されない作物を選ぶ問題です。問7の(1)人口爆発は良く書いていましたが、(2)のサイクロンの正答率は低かったです。問8の(1)はメッカの位置を地図中から選ぶ問題です。

(2)は、メッカにあるカーバ神殿として正しいものを写真の中から選ぶ問題で、最近カラー写真を選択肢にする問題が教題出題されています。問9の問題は歴史分野からの出題で、アメリカ大統領ウィルソンの行ったことを選ぶ問題です。アメリカ大統領選に関連して出題しました。問10のは世界の貧困問題として正しいものを選ぶ問題です。問11は、映画化されて話題になった外交官で、第2次世界大戦中多くのユダヤ人の国外脱出を助けた杉原千畝を選ぶ問題です。問12はロシアで起こった出来事を年代の古い順に並べ替える問題です。世界史分野からの出題で、受験生は苦戦していたようです。

Ⅱ 様々な時代の文化の特徴を述べた文をもとに出題しています。問1・2は基本的な問題で、正答率も高かったです。

問3は写真を見て天平時代につくられた仏像を選ぶ問題で

す。正解は、アの阿修羅像で、イは飛鳥時代の釈迦三尊像、ウは平安時代の阿弥陀如来像、エは鎌倉時代の金剛力士像です。問4は、唐の時代の東アジアの状況を問う問題で、正答率はあまり高くありませんでした。問5は、撰政を記述させる問題で、しっかり漢字を書けるかをみました。問6は、古今和歌集を選ばせる問題で、基本的な問題でした。問7の正解はイです。親鸞上人の悪人正機説を問う問題です。問8は、鎌倉時代に起こった出来事を古い順に並べ替える問題です。問9は、足利義満の行ったことを選ぶ基本的な問題です。問10は、能と連歌を選ばせる問題です。文化史もよく出題されるので、各時代の文化の特徴もしっかり勉強してください。問11は徳川綱吉の行ったことを選ぶ問題です。問12・13・14の選択問題は、やや受験生の苦手な問題でした。問15の問題の小林多喜二は、漢字でしっかり書いていた受験生が多かったです。

Ⅲ 公民分野からの出題で、わが国の行政について問いました。問1は、地方公共団体についての出題です。中央政府に大きな権限が認められていた戦前からの流れに対して、今はできるだけ地方の自治が尊重される方向です。問2では、わが国の主な歳出について問いました。今は、高齢社会を迎えて、社会福祉の支出が最も大きな割合を占めるようになっています。問3では、最近の外交問題について問いました。尖閣諸島問題は日中間の難しい課題です。問4は、自衛隊に関する問題です。湾岸戦争は、アメリカ主導の多国籍軍が出動し、わが国は参加していません。問5は、内閣について問いました。内閣不信任決議権は衆議院にのみ認められている権限です。問6では、公害問題を問いました。四大公害のうち四日市ぜんそくは、工場の排ガスが原因でした。問7は、情報社会についての問題です。国や企業が情報を一方的に管理することに対して、住民側は、『知る権利』を主張しています。問8は、社会保障に関する憲法の条文の空白部分に関する問題です。いずれも代表的な条文で、正答率は高かったです。問9は、企業についての問題です。株式会社の場合は、株主が負う責任は有限です。問10では、景気の変動を問いました。物価の継続的な上昇は、インフレーションと呼ばれています。問11は、日本の貿易についての問題です。現在の為替は変動相場制で、円とドルの交換比率は、その時々を経済状況によって変わります。問12では、現代国家のあり方を問いました。行政の役割の大きい現代国家は、福祉国家と呼ばれています。

対策と アドバイス

●地理的分野の学習について

最近は、時事問題と関係する出題が多いので、普段から新聞を読む習慣を身につけるとともに、知らない地名が出てくれば必ず地図帳でチェックすることが重要です。

●歴史的分野の学習について

歴史は、時代の特徴を捉えることが重要です。それぞれの時代の主な人物や出来事・文化を確実に理解し、覚えてください。歴史を苦手に感じている人でも、それぞれの時代ごとに人物や出来事を整理することで、確実に得点できるようになるでしょう。

●公民的分野の学習について

例年、現実の社会への関心を問う時事問題を出題することが多いので、日頃からテレビのニュースを聞いたり新聞を読んだりして、世界や日本国内の動きに関心を持ち、視野を広げておくことが大切です。しかし、こうした日々のニュースも、中学校の教科書にでている基本的な知識があつてこそはじめてよく理解できるものであり、中学校の授業を大切にし、教科書に書かれている基本的な事項をしっかり理解しておくことが何よりも大切です。